

公正で民主的な教科書採択をゆがめるな 侵略戦争を美化する執筆者をパネリストにしたシンポは中止を

今年は中学校の教科書選定の年で、来年から4年間使用する教科書を選定します。名古屋市教育委員会は、これまで教員や校長など教育者からの意見聴取、市民向け教科書展示会、学術研究者からの意見聴取を受け、教育委員が教科書を決定してきましたが、今回初めて、市民公開の教科書シンポジウムを企画しました。このシンポには、8社の歴史教科書出版社のうち4社から4名が参加。そのうち2名が「侵略戦争を美化する」教科書の執筆者がパネリストとして参加します。

日本共産党名古屋市議員団は、6月4日、侵略戦争を美化する執筆者の参加中止を教育委員会に申し入れました。下田教育長は、「文部科学省の通知（平成28年度使用教科書の採択について）で、外部からの働きかけに左右されることなく…公正かつ適正な採択を行うこととしていることを十分踏まえたうえで開催する」とこたえ、当日会場が収まらないような事態があれば中止も検討すると答えました。パネリスト

は、「執筆者ではなく、学識経験者として率直に意見を聞く」と答えました。

侵略戦争を美化する「つくる会」はフェイスブックなどで市教委主催のシンポジウムを宣伝し、「4社の執筆者が集まったのシンポジウムはおそらく史上初です！」と記載しています。市教委の意向とは違い、文科省が教科書発行者に対して通知した、「教科書の採択に関する宣伝行為などについて」の「採択期間中に偏著作者をこれらに関与させないこと」に反するものとなっています。申し入れでは、「6月7日実施の教科書シンポジウムの内容の変更もしくは中止すること」を強く要請しました。



公正で民主的な教科書採択を求める申し入れ

名古屋市教育委員会
教育委員長 服部はつ代 様

公正で民主的な教科書採択を求める申し入れ

今年の夏は、4年に1度の中学校教科書採択が行われる。名古屋市では、教科用図書採択にあたり、教科用図書調査研究協議会、教科用図書調査専門委員会、教科書展示、意見聴取会を経て、教育委員会が採択を行ってきた。

今回、教育委員会は、従来の意見聴取会を市民公開の「シンポジウム」形式により学識経験者から意見聴取を行うとして、採択期間中の6月7日に教育シンポジウム「中学校の歴史学習を進めるために～望ましい歴史教科書とは～」を開催しようとしている。

このシンポジウムは、4人のパネリストがディスカッション形式で発言するものとなっているが、パネリストはすべて教科書執筆者本人である。採択期間中に学識経験者から意見を聞くことはあっても、執筆者本人に意見を聞くということは、文部科学省が教科書発行者に出した通知「教科書の採択に関する宣伝行為等について」（平成19年）にあるように「採択期間中において、教科書に関する講習会又は研修会等を主催せず、原則として、関与しないこと。ま

た、同期間中において、編著作者をこれらに関与させないこと」との通知の精神を踏まえれば、教育委員会が主催するとはいえ、このようなシンポジウムを開催することは重大な問題である。

さらに、この中には過去の侵略戦争と植民地支配を美化する教科書の執筆者一石昌浩氏（育鵬社）、藤岡信勝氏（自由社）一がパネリストとして参加している。選定対象の中学校歴史教科書が8社から出版されているにもかかわらず、パネリストは4社4名で、うち2名が侵略戦争を美化する執筆者という構成は、「特定の教科書への肩入れになるのでは」との市民からの批判は免れない。

文部科学省は本年4月、「平成28年度使用教科書の採択について」にて「静ひつな採択環境を確保するため、外部からの働きかけに左右されることなく、採択権者の権限と責任において公正かつ適正な採択を行うこと」を通知したところである。

文科省の通知すら逸脱するものになりかねない。よって、以下の点を申し入れる。

記

- 1 6月7日実施の教科書シンポジウムの内容を変更もしくは中止すること。

教科書展示会で意見が出せます 期間=6月11日(水)～7月5日(土)

一般市民向けの教科書の展示会は、6月11日から7月5日まで県下の各会場でいっせいに開かれます。この展示会では、市民の意見を出すことができます。名古屋市内の会場を紹介します。

教科書センター	所在地	展示教科書
名古屋鶴舞中央図書館教科書センター(昭和区)	名古屋市鶴舞中央図書館研修室	小・中・高
名古屋市内図書館教科書センター(4館)	西図書館、中川図書館、南図書館、天白図書館	小・中
名古屋市教育センター 教科書センター(熱田区)	名古屋市教育センター図書室調査普及教科書資料室	小・中